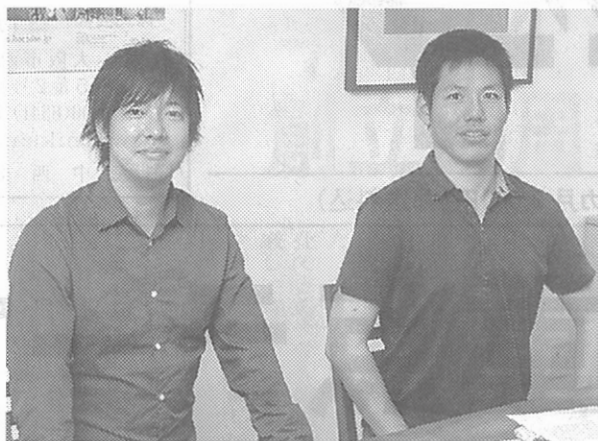


パワフル 関西

●●438●●

株式会社八清(京都市
下京区、西村孝平社長)
は、1956(昭和31)
年に、物件の仲介や建売



左から海外企画販売担当の尾藤俊輔氏、専務取締役西村直己氏

京都市内に京町家は4万8000件 良さを生かしつつ現代風住宅に

事業ではなく、京町家の再生(リノベーション)販売に特化することで全国的に知られ、今では同社で物件を購入する客の半分以上は京都以外の在住者や海外の人だという。

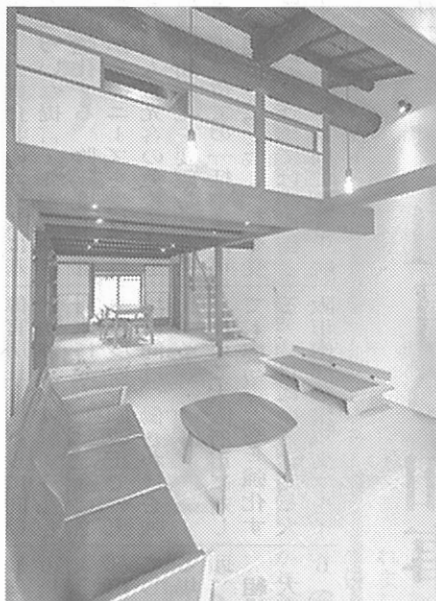
現在京都市内には約4万8千件の京町家が存在しているが、都心部においては次々と建て替えや取り壊しで姿を消してい

経済界や行政からも高評価を得る

従来同社では建売や中古住宅のリフォーム販売などを手掛けていたが、たまたま購入した京町家を売りに出したところ、想像以上の反響があったことにヒントを得て、今では手掛ける物件のほとんどが京町家の物件だという。

「建築基準法が制定された1950(昭和25)年以前に建築された伝統的な京町家の物件は、現在主流となっている在来工法のようなコンクリート基礎がないなど大きな欠点があるが、現在の建築基準法では再建築が認められ、条件の敷地に立地していることが多い。」「京町家を京都の文化遺産だと考えている私達にとって、後世に残していくことが

「建築基準法が制定された1950(昭和25)年以前に建築された伝統的な京町家の物件は、現在主流となっている在来工法のようなコンクリート基礎がないなど大きな欠点があるが、現在の建築基準法では再建築が認められ、条件の敷地に立地していることが多い。」「京町家を京都の文化遺産だと考えている私達にとって、後世に残していくことが



伝統的な京町家を現代風にリノベーションし、世界中から顧客を集める

アイデアを次々と生み出している原動力は同社の従業員にある。同社の従業員は多くが他業種からの転職者で、西村専務自身も以前は東京でSEとして勤務しており、海外企画販売担当の尾藤氏も他業種からの転職である。外部の発想を持ち込むことが奏功したという。

使命だと考えている(西村直己・専務取締役)という同社では、アイデアを駆使しつつ、京都市など行政とも連携しながら京町家の保存に貢献する。その取り組みと他にはない独自のビジネスプランは京都商工会議所の「知恵ビジネスプランコンテスト 第1回知恵ビジネスプラン」の認定や経済産業省の「平成26年度先進的なリフォーム事業」の発信や「京町家検定」という当地WEBを主催するなど、従来の不動産会社のイメージを大きく覆すことに成功した。

「不動産業界は一つの物件を複数の事業者が取り扱うことができた環境づくりとして、京都で仕事を紹介できれば面白いですね」と展望を話す。

「所在地」京都市下京区東洞院通高辻上ル高橋町619

京町家の再生に特化した不動産会社

株式会社
八清

歴史・意匠・建築・生活などの知識を深めてもらうためのWEBコンテンツ「se.jp」

「URL」http://www.hachise.jp/